

【参考3】 記入例



# 中津川 まちなか子どもフェス



団体名 : 中津川市 政策課  
提案者名 : 中津 太郎  
政策 花子

政策アイデアの概要

政策アイデア名：まちなかこどもフェス

<b>総合計画 取組の内容</b>	No3 安心して子育てできる環境の整備 No70 中心市街地の魅力向上
<b>事業の主体</b>	中津川市 ・ 提案者
<b>政策 アイデア の内容</b>	<p>緑地公園や本町公園、ひと・まちテラスなど、まちなか全体の公共空間を活用した子どもや子育て世代が安心して参加できるイベントを開催します。</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「子どもの遊び体験ゾーン」、「子ども用品のバザー・交換会ゾーン」、「キッチンカーによる飲食ゾーン」などを実施します。</li><li>・子どもの遊び体験ゾーンでは、中津川市らしい、木材を使ったものづくり体験など、学校や家では体験できないようなコンテンツを提供します。</li><li>・子ども服や制服、学校指定ジャージの譲渡会などを開催し、経済的に不安を持つ方への支援につなげます。</li><li>・それぞれのゾーンを無料のスローモビリティでつなぎ、移動時間も中津川市内を眺めて楽しめます。</li><li>・地域の団体や学生、現在中津川市で活躍しているまちづくりを担う方々にも参加してもらい、様々な世代や立場の方との交流促進を図り、さらなるまちなかのにぎわいにつなげます。</li></ul>

政策アイデアの概要

政策アイデア名：まちなかこどもフェス

政策アイデアのイメージ



中津川市ならではの  
学びにつながる  
体験型コンテンツ



子ども用品等の  
バザー・交換会



親同士の交流の場



子どもたちが  
思い切り遊べる場所



まちなかこどもフェス



ワクワクする  
非日常の演出



地域や事業者、学生  
との連携



まちなか全体の  
空間活用



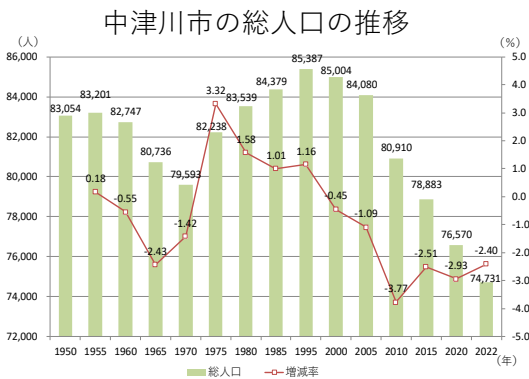
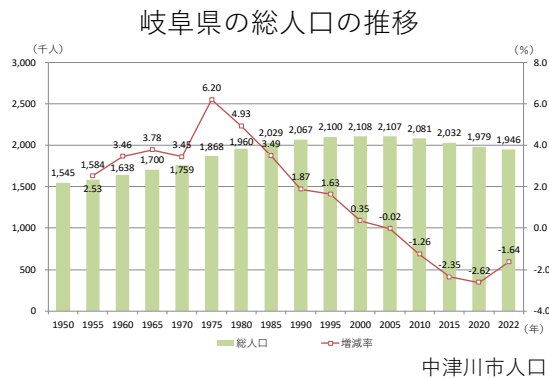
キッチンカー  
地元グルメ



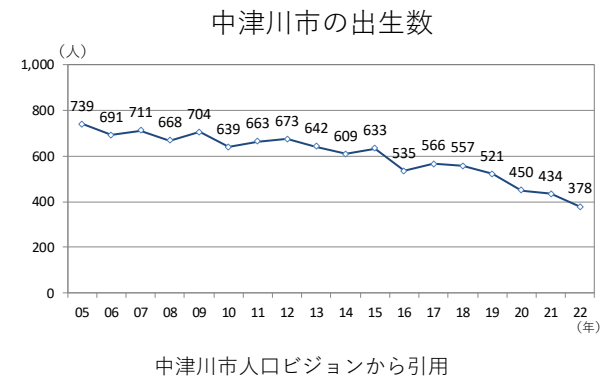
## 中津川市の課題

## 政策アイデア名：まちなか子どもフェス

- ・中津川市は、人口減少の度合いが全国平均、岐阜県平均より高く、人口減少への対応として子育て支援の強化が求められています。
- ・子どもが遊べる場所、保護者同士の交流できる場所・機会が必要ですが、子どもの防犯、交通安全などの安全面を考えると自由に遊べる環境が限られ、マンネリ化しています。
- ・共働き家庭の増加や交流の場へ参加することへの心理的ハードルの高さが、親同士で交流できる機会を減らし、コミュニティが希薄化しています。
- ・子育てへの不安や負担感が出生数の減少につながり、人口減少が進んでいると考えられるため、安心して子どもを産み育てられる環境づくりなどを行う必要があります。



人口減少

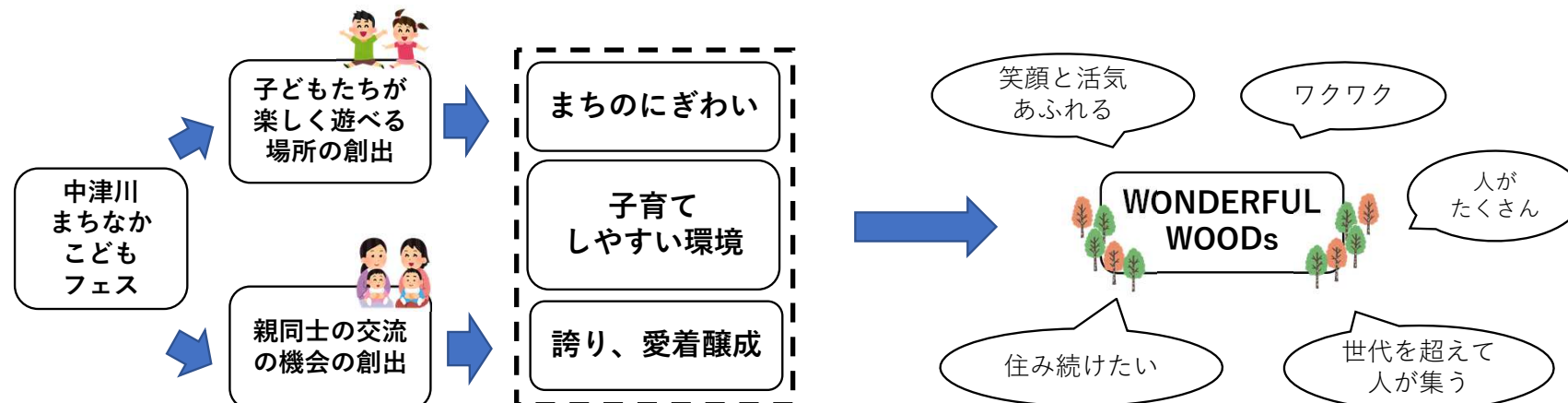


## 政策アイデアの目的と動機

政策アイデア名：まちなか子どもフェス

### 政策アイデアの目的

本政策アイデアを実施することで、子どもたちが楽しく遊べる場所や親同士の交流の場を創出し、子どもの笑顔をまちなかに広げ、親子の交流と地域のにぎわいを生み出し、子育てしやすいワクワクする中津川市を実現することを目的とします。



### 提案に至った動機

子どもの頃にコロナ禍を経験して、友達と思い切り遊べる機会が少なく、物足りなさを感じていました。だからこそ、今の子どもたちには、地域の中で楽しく遊び、思い出をつくれる場を届けたいと思い、この提案を考えました。子どもの笑顔とワクワクが、まちなかにぎわいや未来の中津川につながってほしいと強く思います。

## 政策アイデアのワクワクするポイント

政策アイデア名：まちなかこどもフェス

〈まちなか全体が“子どもの遊び場”に変わるワクワク〉

・普段は通るだけの商店街や広場、道路が、1日限定で巨大な遊び場になることで、子どもたちに特別な体験を提供できます。

〈新たなつながりが生まれるワクワク〉

・イベントを通じて、子育て世代、地域住民、事業者など、色々な人たちの新たなつながりを生むことができます。

〈Before〉



〈After〉



政策アイデア  
実施後のまちのにぎわい

政策アイデアの新規性・独創性・中津川市らしさ

政策アイデア名：まちなかこどもフェス

新規性  
独創性

- ・子どもの遊びや体験の提供だけでなく、親同士の交流の場やまちなか全体を活用して地域との接点を生み出すことで、子育て支援と中心市街地活性化を一体的に推進できます。
- ・イベント会場を限定した空間ではなく、まちなか全体を“子どもの遊び場”として活用し、地域店舗や団体、市民が参加者としてだけでなく“つくり手”として関わる点に独創性があります。また、子どもが地域の仕事や文化、遊びを体験できることで、まち全体が一つのテーマパークのような空間になることを目指します。

中津川市  
らしさ

- ・中津川市の豊かな自然や地域文化、人と人との距離の近さを活かし、木や自然素材を使った遊び体験、地元事業者との体験ブース、地域文化に触れられる企画を取り入れることで、中津川ならではの魅力を体感できるイベントとします。子どもたちが楽しみながら地域への愛着を育める点が中津川市らしさです。

## 政策アイデアの実施に向けた具体的な手法・手段

政策アイデア名：まちなかこどもフェス

### ① 企画・体制構築（開催6～8か月前）

目的：事業の方向性を決め、実施体制を整える  
実施内容：

- 実行委員会の立ち上げ
  - ・行政、商店街、地域事業者、子育て団体、学生 など
- 開催目的、ターゲット層の整理
- 開催場所の選定
- 開催テーマ設定



### ② ニーズ把握・企画検討（開催5～6か月前）

目的：子育て世代や子どもの意見を取り入れる  
実施内容：

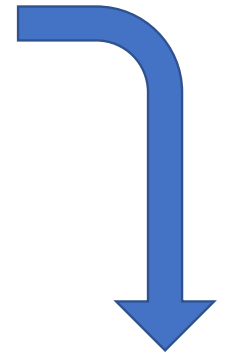
- 子育て世代へのアンケート
  - ・子どもワークショップ開催  
「どんな遊びがあったら楽しい？」  
「まちなかに何があったら行きたい？」
- 地域団体・店舗へのヒアリング

### ③ コンテンツ設計・協力者募集

（開催3～5か月前）

目的：イベント内容を具体化する  
実施内容：

- 〈遊び・体験エリア〉
  - ・木工体験昔遊び、工作、運動遊び
- 〈まちなか回遊企画〉
  - ・スタンプラリー
- 〈地域体験企画〉
  - ・子ども店長、お仕事体験、地元店舗体験
- 〈協力体制〉
- 地元企業
  - ・商店街、学生ボランティア、子育て団体



イベント  
開催

政策アイデアの実施にかかる費用

政策アイデア名：まちなかこどもフェス

必要になる概算費用と内訳（何にお金を使うか）

項目	概算金額
チラシの作成費	100,000円
イベント運営委託	1,000,000円
体験コンテンツ用の材料費	300,000円
	円
	円
	円
	合計：1,400,000円

※市が実施主体となるアイデアの場合、概算金額の合計は1,000万円以下としてください。

※提案者自身が実施主体となるアイデアの場合、補助金は1事業あたり最大100万円ですが、概算費用の上限はありません。